

温室効果ガス排出状況報告書(3)

1 地球温暖化対策事業者等の概要

(1) 地球温暖化対策事業者等の氏名等

地球温暖化対策事業者等の氏名 (法人にあっては名称及び代表者又は管理者の氏名)	日本製紙総合開発株式会社 代表取締役社長 吉村 義孝
地球温暖化対策事業者等の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	〒114-8555 東京都北区王子1-9-5

(2) 事業所の概要

事業所の名称		サンスクエア		
事業所の所在地		〒114-0002 東京都北区王子1-4-1		
業種等	事業の業種	分類番号	Q93 Q:サービス業(他に分類されない) その他のサービス業 ▼	
		産業分類名	その他のサービス業	
	事業所の種類	主たる用途	部門分類 <input type="radio"/> 産業 <input checked="" type="radio"/> 業務 <input type="radio"/> 工場 <input type="radio"/> 熱供給施設 <input type="radio"/> 上水道・下水道施設 <input type="radio"/> 廃棄物処理施設 <input checked="" type="radio"/> 事務所 <input type="radio"/> 商業施設 <input type="radio"/> 宿泊施設 <input type="radio"/> 教育施設 <input type="radio"/> 医療施設 <input type="radio"/> 文化施設 <input type="radio"/> その他 ()	
		建物の使用形態	<input type="checkbox"/> テナントビル等に該当	
事業の概要		1. ボウリング場 2. ゴルフ練習場 3. テニススクール 4. フード 5. 貸店舗(スーパー・飲食店・ゲーム)		
主なテナント事業者等の概要 (テナントビル等の場合に記載)		(1)	テナント事業者等の名称	
		(2)	テナント事業者等の名称	
		(3)	テナント事業者等の名称	
敷地面積		16,027	m ²	
建物の延べ面積		18,531	m ²	

(3) 担当部署

計画の担当部署	名称	テナント開発事業部 メンテナンスG	
	連絡先	電話番号	03-3912-0595
		ファクシミリ番号	03-3914-0120
		電子メールアドレス	sun@npd.co.jp
公表の担当部署	名称	総務・管理部	
	連絡先	電話番号	03-3914-6161
		ファクシミリ番号	03-3914-3706
		電子メールアドレス	npd-info@npd.co.jp

(4) 排出状況報告書の公表方法

公表期間	平成21年7月1日 ~ 平成22年6月30日	
公表方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス: http://www.npd.co.jp
	<input checked="" type="checkbox"/> 窓口で閲覧	閲覧場所: 日本製紙総合開発株式会社 総務・管理部
		所在地: 東京都北区王子1-9-5 京徳ビル4F
		閲覧可能時間: 10:00 ~ 16:00(土、日、祝日、年末年始は除く)
	<input type="checkbox"/> 冊子	冊子名:
	入手方法:	
	<input type="checkbox"/> その他	

2 計画期間

17 年度 ~ 21 年度

3 温室効果ガスの総排出量の状況

(1) 前年度の温室効果ガスの総排出量

単位: t(二酸化炭素換算)

CO ₂	CH ₄	N ₂ O	HFC	PFC	SF ₆	合計
3,181						3,181

(2) 総基準排出量及び前年度までの温室効果ガスの総排出量の推移

(単位: t(二酸化炭素換算))

	基準排出量	第1年度	第2年度	第3年度	第4年度	第5年度
総排出量	3,347	3,301	3,186	3,311	3,181	
基準排出量 比増減率		1%	5%	1%	5%	

4 工場・事業場の設備等に係る温室効果ガスの排出の状況及び排出抑制に係る措置の進ちょく状況(総括)

(1) 温室効果ガスの排出の量

(前年度: 20 年度)

ア 前年度の温室効果ガスの排出の量

単位: t(二酸化炭素換算)

CO ₂	CH ₄	N ₂ O	HFC	PFC	SF ₆	合計
3,181						3,181

イ 前年度の建物の延べ面積当たりの温室効果ガスの排出の量の状況等(業務部門に該当する場合のみ記載)

建物の延べ面積当たりの温室効果ガスの排出の量	171.6 kg/m ² ・年
建物の延べ面積当たりのエネルギー消費量	4,150 MJ/m ² ・年

ウ 基準排出量及び前年度までの温室効果ガスの排出の量の推移

単位: t(二酸化炭素換算)

	基準排出量	第1年度	第2年度	第3年度	第4年度	第5年度
排出量	3,347	3,301	3,186	3,311	3,181	
基準排出量 比増減率		1%	5%	1%	5%	

(2) 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の進ちょく状況

対策分類ごとの措置の進ちょく状況(実施の有無)	基本対策	<input checked="" type="radio"/> すべて完了	<input type="radio"/> 一部完了	<input type="radio"/> 未実施	<input type="radio"/> 計画なし
	うち、運用対策	<input checked="" type="radio"/> すべて実施	<input type="radio"/> 一部実施	<input type="radio"/> 未実施	<input type="radio"/> 計画なし
	目標対策	<input type="radio"/> すべて完了	<input checked="" type="radio"/> 一部完了	<input type="radio"/> 未実施	<input type="radio"/> 計画なし

目標対策による削減実績	推計実績削減量(目標対策分)	56 t-CO ₂
	推計実績削減率(目標対策分)	1.6%
目標削減率		2.3%

5 自動車等に係る温室効果ガスの排出の状況及び排出抑制に係る措置の進ちょく状況(総括)

(1) 温室効果ガスの排出の量

ア 前年度の温室効果ガスの排出の量

単位:t(二酸化炭素換算)

CO ₂	CH ₄	N ₂ O	HFC	PFC	SF ₆	合計

イ 基準排出量及び前年度までの温室効果ガスの排出の量の推移

単位:t(二酸化炭素換算)

	基準排出量	第1年度	第2年度	第3年度	第4年度	第5年度
排出量						
基準排出量 比増減率						

(2) 温室効果ガス排出の抑制に係る措置の進ちょく状況

排出の抑制に係る措置の進ちょく状況	<input type="radio"/> すべて完了 <input type="radio"/> 一部完了 <input type="radio"/> 未実施 <input checked="" type="radio"/> 計画なし
-------------------	--

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の進ちょく状況等についての総括等

温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の進捗状況等についての総括等
 目標を達成するために、計画通り機械設備の省エネタイプの導入・テナントを含んだ排出ガス削減の意識付け・ISO14001活動に基づく活動を実践して、効果を上げている。
 その一方で、一部直営やテナントの営業時間の延長による照明および冷暖房機器の使用量増により、排出ガスが増加する要因もある。
 しかし最近ではテナントでの省エネ機器の導入による節電効果も出てきています。
 上記の状況を踏まえ、総括マネージャー・テクニカルマネージャー及び推進責任者の3名と、地球温暖化対策推進委員9名で、協力体制を作り上げて対応している。
 各項目のチェックは、都に提出してある計画書に基づき、定期的に進捗状況を確認している。

(当年度以降の取組方針)

当年度以降の取組み方針
 計画書に上げている項目に沿って活動を進めていく。
 大型設備導入は積極的に実施しているが、省エネ蛍光灯などはますます省エネ進化されている、これらもさらに積極的に採用する。
 省エネタイプの設備導入・ISOの行動指針に基づく活動・会社全体の環境保全活動などを通じ、排出ガス抑制に取り組んでいきたい。
 当年度はLED照明を多く取り入れ、僅かであるが削減追加を目指す。
 また、老朽クーラー更新の設備機械導入計画もあり、機種設定の際には、当然省エネルギータイプを採用する。
 これらの行動内容については、広く公開し、地域の人々に理解してもらうよう心がける。さらに、社内・グループ会社・テナント各社に地球温暖化対策の啓発を行い、協力体制を作り上げる。